

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	16
支出年月日	平成 30年 6月 5日
支出項目	調査研究費 <u>研修費</u> 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます。)	
<p style="font-size: 2em;">別紙参照</p>	
支出内容 (按分の計算方法)	研修(自治体監査のための監査論入門)第4回 参加に要した交通費(阪神平屋⇔阪神梅田)
その他	

領収証

№ XXXXXXXXXX

大原様

金額	千	百	十	円
			2	80

但し 1 乗車券類
2 チャージ代
3 その他 ()

上記の金額正に領収いたしました
2018年6月5日

阪神電気鉄道株式会社
運輸部



収 入
印 紙

<input checked="" type="checkbox"/>	現金
<input type="checkbox"/>	クレジットカード
<input type="checkbox"/>	その他 ()

金額	千	百	十	円
			2	80

但し 1 乗車券類
2 チャージ代
3 その他 ()

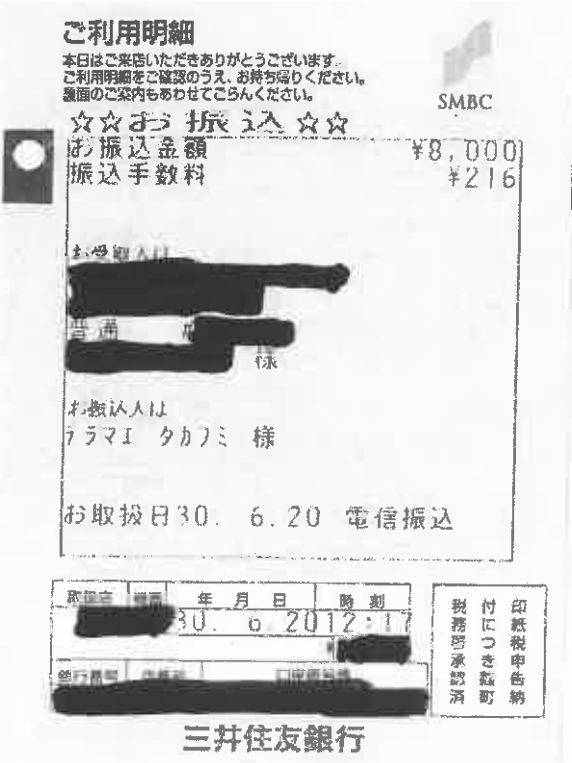
上記の金額正に領収いたしました
2018年6月5日

阪神電気鉄道株式会社
運輸部



収 入
印 紙

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	17
支出年月日	平成 30年 6月 20日
支出項目	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄（支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます。）	
	
支出内容 (按分の計算方法)	レンタルサーバー年間更新費
その他	

* まとめて貼付する場合、領収書等が重ならないようにしてください。

* 領収書等のサイズが大きい場合は、裏面に貼付してください。

請 求 書

寺前 たかふみ 様

平成30年6月5日 月曜日

おふいすあいしーきゅー

〒665-0852 宝塚市売布3-3-11

TEL 0797-86-8509

FAX 0797-86-8529

いつもお世話様になります

サーバー契約年間更新費として 8千円也

よろしく願いいたします。

期日 6月末日

お振込先 [REDACTED] 支店 普通 [REDACTED] [REDACTED]

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	18
支出年月日	平成 30年 6月 20日
支出項目	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます。)	
支出内容 (按分の計算方法)	(賃料 52,900 + 振込料 108円) × 按分率 $\frac{1}{4}$ = 13,252円
その他	

* まとめて貼付する場合、領収書等が重ならないようにしてください。

* 領収書等のサイズが大きい場合は、裏面に貼付してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	19
支出年月日	平成 30 年 6 月 25 日
支出項目	調査研究費 <u>研修費</u> 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます。)	

ご利用明細 このご利用明細は必ずお持ち帰りください

30.06.25	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
*** **						お振り込み ¥9850
税込手数料 ¥270*		1712		***		

お振込先 [REDACTED] 銀行 支店
普通 [REDACTED]
サ イ ト コ フ ァ ン ユ ン ケ ン シ ュ ー サ イ タ ン 様
ご依頼人 アシタキカイ オハラウキ様

30730.06.26

各銀行の銀行とこの明細に相違がある場合はご連絡ください

MUFG 三菱UFJ銀行

支出内容 (按分の計算方法)	研修(社会保障・社会福祉)参加費 総費用 9,850円 - 食費 4,000円 + 振込手数料 270円
その他	経費 9,850円 - 食費 4,000円 - 研修生活助費 2,250円 + 振込手数料 = 3,870円 270円



平成30年度

市町村議会議員研修[3日間コース] 社会保障・社会福祉

今回は、「2025年問題」をテーマに、高齢者の医療と介護を中心に3日間の研修を実施します。

少子高齢、人口減少の進行が日本社会において大きな課題となっているなか、2025年には、団塊の世代が後期高齢者となり、かつて経験したことのない超高齢社会に突入することとなります。

研修では、現在の状況や制度を理解したうえで、介護、地域包括ケアシステム、地域医療、認知症予防等に関する講義や事例などを通して理解し、今後、地域としてどのような仕組みづくりを進めていくことができるのかなどについて考えます。

※本研修は、全国市議会議長会及び全国町村議会議長会との共催で実施します。

開催要領

- 日程** 平成30年7月4日(水)～7月6日(金) (3日間)
- 場所** 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 船橋駅下車徒歩約3分
- 対象** 市町村議会議員の皆様
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
- 募集人数** 60人 募集人数を大枠に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください(市区及び町村の区分における申込者の人数により、受講者の人数を按分して抽選、決定します)。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
- 宿泊** 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
- 研修費** 9,850円 左記金額は、研修、宿泊、食料(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。
- 申込期限** 平成30年5月24日(木)まで
- 申込方法** 議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申込ください。
※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。
- 受講決定** 受講の可否については、開会日の約1か月前までに通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
- 事前課題** 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

19-2

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp 【ホームページ】<https://www.jiam.jp>

平成30年

7月

4日(水)

11:00～

入寮受付・昼食

12:30～

開講式・オリエンテーション

13:00～15:35

講義 2025年問題と社会保障政策

政策研究大学院大学 教授 小野 太一 氏

3日間の最初の講義として、我が国が直面している少子高齢社会の現状についてお話しいただき、それらに対応した社会保障政策についてご講義いただきます。

15:50～17:00

演習 意見交換

政策研究大学院大学 教授 小野 太一 氏

冒頭の講義を踏まえ、それぞれの地域の現状や課題等についてグループに分かれて意見交換します。その後、グループごとの意見を全体で共有することで講義内容についての理解を深め、2日目以降の研修に繋がります。

17:30～

交流会 とともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成30年

7月

5日(木)

9:25～12:00

講義 介護保険と地域包括ケアシステム

淑徳大学コミュニティ政策学部 学部長・教授 鏡 諭 氏

介護が必要な高齢者を社会全体で支えるしくみとして2000年に施行された介護保険制度について、その変遷と現状について学びます。そのうえで、介護をはじめ、医療や生活支援サービス等を一体的に提供することを目指した地域包括ケアシステムについて、事例を交えながらご講義いただきます。

13:00～15:00

講義 地域医療の現状と課題

東京大学政策ビジョン研究センター 特任教授 梶形 裕也 氏

地域で安心して生活していくためには、医療の確保が重要です。医療計画や介護との連携、病院経営や医師確保等、地域での医療の確保に関する課題等について、事例を交えながらご講義いただきます。

15:20～17:20

講義 認知症の基礎知識と社会参加による予防の可能性

東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究員(主任) 鈴木 宏幸 氏

認知症が大きな社会問題となっているなか、認知症について正しく理解し、認知症の基礎知識と認知症予防の考え方について社会参加の観点からご講義いただきます。そのうえで、社会として地域としてどのような取組を進めていけばよいのかについて考えます。

平成30年

7月

6日(金)

9:25～12:00

講義 街全体で人々を看守る街づくり

京都大学経営管理大学院 特定教授 高齢社会街づくり研究所株式会社 顧問 若尾 聡士 氏

2025年に向けて、地域包括ケアシステムの構築が進められているなか、様々な取組が進められています。この時間は、地域全体で弱者を看守り、医療モデルから生活モデルへの転換を目標に、名古屋市でモデル研究を進め、全国に展開する新しい挑戦(IWAOモデル)についてご紹介いただき、これからの地域での取組について考えます。

12:00～12:15

閉講・事務連絡

19 - 3

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

兵庫県 芦屋市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
学長 松崎 茂
滋賀県大津市唐崎二丁目3番1号

研修受講の決定について

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願
いします。

氏名	大原 裕貴
コース名	平成30年度市町村議会議員研修 [3日間コース] 社会保障・社会福祉
研修期間	平成30年7月4日(水) ~ 7月6日(金)

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただき、別途請求書は発行しません。

(1) 納入金額：9,850円 〈内訳〉 研修費(@1,200) 3,600円
食費 4,000円
研修生活動費 2,250円

(2) 指定期間：平成30年6月25日(月) ~ 6月29日(金)

(3) 指定口座： 〇〇銀行 〇〇支店 普通 No. 〇〇〇〇〇〇
〇〇銀行 〇〇支店 普通 No. 〇〇〇〇〇〇
名義人：(株) センコクジョウリョクカンショウ タン
センコクジョウリョクカンショウ
(公財)全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

注1) 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。
注2) 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。

- 2 受講者に対する連絡指導について
同封した以下の書類を受講者に渡していただき、受講者が必要な事前の準備を整え
たうえ、所定の日時（平成30年7月4日11：00～12：00の間）に研修所に入所するよ
う指導してください。
 - ・受講にあたっての留意事項（受講者用）
 - ・受講される皆さまへ
 - ・時間割
 - ・JR湖西線時刻表／研修所周辺地図
 - ・研修のしおり
- 3 受講者を研修に専念させることについて
研修期間中は、研修に専念していただくため、緊急の場合を除き、職務の都合によ
り途中退所や一時帰庁するのはもちろんのこと、職務関連の電話連絡を受けること
のないよう、事前準備についてお伝えください。
- 4 研修所への利用交通機関等について
研修所は、JR湖西線・唐崎駅より徒歩3分です。唐崎駅には快速・新快速列車は
停車しませんので、ご注意ください。
所内の駐車スペースには限りがありますので、来所の際は、なるべく公共交通機関
をご利用ください。なお、研修期間中は、休日を除いて車での外出はできません。
- 5 最終日の宿泊について
最終日の宿泊はできませんので、当日帰れない場合は、別途宿泊場所の確保及び手
当の支給等の用意をお願いします。
最終日の研修終了時刻は、12時15分頃です。最終日の昼食は、研修経費に含ま
れておりません。
- 6 受講申込みの取消等について
この受講決定通知受領後の申込みの取消（受講辞退）は、原則として認めません。
疾病その他真に止むを得ない事由により、受講が困難となった場合や受講者を変更
しなければならないこととなった場合には、直ちにその旨を当研修所（教務部）に連
絡してください。
なお、万一受講辞退となった場合であっても、ご負担いただく経費（手配済物品の
費用等）が発生することがありますので、ご了承ください。
- 7 インフルエンザ等への対応について
当研修所では、集団研修を実施している組織として、感染症等の予防の徹底等に
努めているところですが、受講者の安全性の確保が必要ですので、これらに該当す
る方の受講をご遠慮いただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 8 問い合わせ先
全国市町村国際文化研修所（JIAM）
【研修に関すること】 教務部 TEL:077-578-5932 担当： XXXXXXXXXX
【経費納入に関すること】 経理課 TEL:077-578-5931

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	20
支出年月日	平成 30 年 6 月 30 日
支出項目	調査研究費 <u>研修費</u> 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます。)	
<p style="font-size: 2em;">別紙参照</p>	
支出内容 (按分の計算方法)	自治立志塾 in 豊中 参加費用
その他	

領 収 書

金	百万		千	円
		¥	5 0 0	0 0

ただし、岡崎昌之先生集中講義「自治立志塾in豊中」 参加費として

上記の金額を領収いたしました。

平成30年 6月30日

本原 裕貴 様

領収者 近畿自治体学会代表

まちづくり再論

いま何故“まちづくり”再考か？

法政大学名誉教授の岡崎昌之先生が自治の現場に焦点を当て、「まちづくり実践論」について話されます。まちづくりの理念や関連政策の変遷、様々な実践例の分析など盛り沢山の全5講で、4講目では、帝塚山大学名誉教授の中川幾郎先生、地域住民と外部人材による地域づくりに取り組んでいる自治体学会員で兵庫県朝来市職員の馬袋真紀さんの3人による鼎談を行います。都市型(豊中市)と中山間地域型(朝来市)の両方のまちづくりの課題を見据え、良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための方策や、住民・事業主・地権者等の多様な主体によるエリアマネジメントについて学びます。人口減少や少子化・高齢化が進む中、自治体の持続可能性を模索している多くの方々にご参加いただき、ともに考える契機にしたいと思っています。



岡崎 昌之
法政大学名誉教授

早稲田大学政治経済学部経済学科卒業後、(財)日本地域開発センター企画調査部長を経て、福井県立大学教授、法政大学教授。専門は地域経営論、コミュニティ政策論。地域づくり団体全国協議会会長、福島県地域創生人口減少対策有識者会議座長、自治体学会代表運営委員、国土審議会専門委員他歴任。『地域は消えない!』(日本経済評論社)、『地域経営』(放送大学)他の著書。



帝塚山大学名誉教授 中川 幾郎



朝来市総合政策課 馬袋 真紀



会場 豊中市立文化芸術センター
TEL.06-6864-3901

■ 日 時

2018

6/30(土) 7/1(日)

第1日

受付/12:30
開講/13:00

第2日

受付/10:00
開講/10:30

◎ 主催/岡崎昌之先生集中講義「自治立志塾 in 豊中」実行委員会、近畿自治体学会
◎ 共催/豊中市、自治体学会

20-3

まちづくり再論

■ 講義日程 / 内 容

6/30 (土)	12:30	受付開始	
	13:00~13:10	開 講	
	13:10~14:40	第1講	いま何故“まちづくり”再考か ~まちづくりの変遷、まちづくりへの取組~
	14:50~16:20	第2講	都市部(住宅都市、地方都市含む)の問題と再生 ~中心市街地の空洞化と再生~
	16:30~18:00	第3講	小規模都市の問題と再生 ~まちづくりと産業振興~
	18:30~	交流会	希望者
7/1 (日)	10:00	受付開始	
	10:30~12:30	第4講	鼎談：自立・自律を目標すまちづくり ~自分たちのまちは自分たちで創る 人口減少・少子高齢化時代におけるコミュニティ再生・人材創出~ 監 岡崎 昌之(法政大学名誉教授) 監 中川 隆郎(帝塚山大学名誉教授) 監 馬場 真紀(朝来市総合政策課)
	12:30~13:30	昼 食	各自持参又は会場周辺の店を利用
	13:30~15:00	第5講	総 括 ~人口減少社会を超えて~
	15:00~15:10	閉 講	

■ 中川 隆郎 / 帝塚山大学名誉教授

同志社大学卒業、大阪大学大学院修了。専門は地方自治論、行政学、都市政策、文化政策、人権政策。1969年より豊中市役所に勤務、阪神淡路大震災時の市長公室広報課長を最後に退職。帝塚山大学大学院法政政策研究科教授・法学部教授を経て、現在は帝塚山大学名誉教授。

■ 馬場 真紀(ばたい まき) / 朝来市総合政策課

1998年兵庫県朝来郡山東町役場入庁。2005年朝来郡4町合併により朝来市職員となる。合併後、地域自治システムの構築、シティプロモーション戦略を担当し、現在は、朝来市創生事業の核としてかかげる「人財育成」を担当し、自らも朝来市民として様々な市民活動を実践している。

■ 参加費

※ ()内は、1日だけの参加費

【講 義】自治体学会会員 / 4,000円 (2,000円)

非 会 員 / 5,000円 (2,500円)

学 生 / 1,000円 (500円)

【交流会】希 望 者 / 5,000円

■ 定 員 100名 (定員に達し次第締め切らせていただきます)

■ 申込み

「こくち一す」または「近畿自治体学会事務局」あてメールにて申込みください。

こくち一す：「自治立志塾 in 豊中」で検索
メール：kinki.jigaku@gmail.com

氏名、連絡先(電話番号、メールアドレス)、所属、会員・非会員、学生の別、1日目・交流会・2日目ごとの参加希望等をお知らせください。

「締切：6月15日(金)先着順」

20-4

問合せ

岡崎昌之先生集中講義「自治立志塾in豊中」実行委員会 本荘、南部

E-mail : honjo007@mineo.jp / hiro.nambu.k97-1@iris.eonet.ne.jp

岡崎昌之先生集中講義「自治立志塾 in 豊中」

開催日：平成30年6月30日（土）・7月1日（日）

場 所：豊中市立文化芸術センター

6月30日（土） 12：30より受付

(1)開 講 (13：00～13：10)

挨拶 岡崎昌之先生集中講義「自治立志塾 in 豊中」実行委員会委員長
豊中市副市長

(2)講 義 法政大学名誉教授 岡崎昌之先生

◆第1講 (13：10～14：40)

いま何故“まちづくり”再考か ～まちづくりの変遷、まちづくりへの取組～

◆第2講 (14：50～16：20)

都市部（住宅都市、地方都市含む）の問題と再生
～中心市街地の空洞化と再生～

◆第3講 (16：30～18：00)

小規模都市の問題と再生 ～まちづくりと産業振興～

(3)1日目終了挨拶

自治体学会地域支援部会長

(4)岡崎先生を囲む会(18:45～)

場所 ホテルアイボリー

豊中市本町3丁目1番16号(阪急豊中駅北口下車、徒歩3分)

7月1日（日） 10：00より受付

(1)鼎談・講義

◆第4講 (10：30～12：30)

鼎談 自立・自律を目指すまちづくり

～自分たちのまちは自分たちで創る

人口減少・少子高齢化時代におけるコミュニティ再生・人財創出～

岡崎昌之（法政大学名誉教授）、中川幾郎（帝塚山大学名誉教授）

馬袋真紀（朝来市総合政策課）

（昼食 各自）



◆第5講 (13：30～15：00)

総 括 ～人口減少社会を超えて～

(2)閉 講 (15：00～15：10)

挨拶 近畿自治体学会代表

政務活動費支出証明書

整理番号	21
支出金額	560 円
支出項目	調査研究費 <u>研修費</u> 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
支出年月日	平成 30年 6月 30日
支出先	住所 氏名 阪急電車
支出事由	研修(自治立憲塾 in 豊中) 参加に要した交通費(阪急尾川⇔阪急曽根)
領収書を徴することができない理由	・ 近距離な切符のため ・ 駅員不在で領収書をもらえなかったため
<p>上記のとおり支出したことを証明する。</p> <p>平成 30年 10月 4日</p> <p style="text-align: right;"> 会派名 日本維新の会 尾市議会議員団 代表者 大原裕貴  経理責任者 寺前尊文  </p>	

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	22																		
支出年月日	平成 30年 6月 30日																		
支出項目	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費																		
領収書等貼付欄	(貼付できます。)																		
<p>新聞購読料 領収証</p> <p>寺前 尊文 様</p> <p>ご購入ありがとうございます。 下記金額を正に領収いたしました。</p> <p>2018年6月分 領収日 6月30日</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: right;">領収金額</td> <td style="text-align: right;">¥1,887</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>定価(税込)</th> <th>部数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">その他購読料等 領収証</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>定価(税込)</th> <th>部数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公明新聞</td> <td style="text-align: right;">1,887</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: right;">1,887</td> </tr> </tbody> </table> <p>販売店住所 TEL FAX お申込No</p>		領収金額	¥1,887	品名	定価(税込)	部数	金額					品名	定価(税込)	部数	金額	公明新聞	1,887	1	1,887
領収金額	¥1,887																		
品名	定価(税込)	部数	金額																
品名	定価(税込)	部数	金額																
公明新聞	1,887	1	1,887																
支出内容 (按分の計算方法)																			
その他																			

* まとめて貼付する場合、領収書等が重ならないようにしてください。

* 領収書等のサイズが大きい場合は、裏面に貼付してください。